



だより

第5号

令和7年1月10日
神奈川県立平塚ろう学校
手話アドバイザー

デフジョーク

手話イベントの校内リハーサルで、高等部の生徒数人による劇の発表がありました。物語をアレンジしておもしろおかしく演じていましたが、この中で「デフジョーク」が語られました。デフジョークとは、ろう者の間で楽しめる娯楽の一つであり、ろう者の行動様式、歴史、価値観、手話などを背景に作り上げる作品です。有名な作品に「部屋番号」、「すずめ」、「冥土」などがあります。中学部、高等部の生徒が考えたデフジョークを紹介します。

「腕の長さ」

ろう者は左右で腕の長さが違う！
人を呼ぶときに肩を叩くから
その腕が伸びていくんだ！
じゃあ両腕で呼べば左右均等になる！

作：高ISH

「腕相撲」

聴者VSろう者の腕相撲で勝ったのはろう者。聴者は鍛えても腕を使う機会がなく、筋肉が衰える。ろう者は一度鍛えれば、手話を使うことで腕の筋肉をキープできる。

作：中IHE

「こっちを見て！」

ろう者数人を呼ぶには明かりを消すのが手取り早い。しかし、一人だけ気づかない人がいる。なんと、サングラスをしていた！

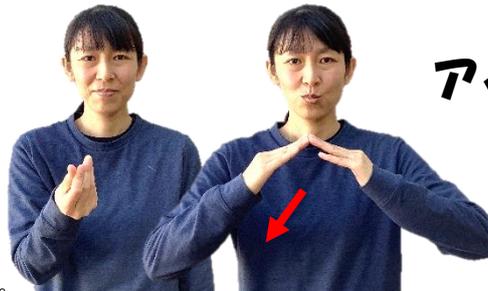
作：高INC

ステップアップ手話

ビニールハウス

【次の文は、手話でどう表すでしょう？】

- ・冷えた身体に温泉の熱いお湯が染みわたる。
- ・寒ブリが空前の大漁でみんな大喜びだ。
- ・意外にも寒い地域ほどアイスクリームの消費量が多い。
- ・ビニールハウスに入るとフワッと甘いいちごの香りがする。
- ・冬は星やイルミネーションが最もきれに見える季節らしい。



アイスクリーム

